

空と緑 新、呼吸する

応報

# たまがわ

'94  
1  
No. 329



(すがま幼稚園もちつき大会より)

よいしょ ヨイシヨ  
今年もガンバりますので  
よろしくお願いします。(山鳩のクックより)

# ふるさと 玉川を想い、玉川を語る



## 設立5周年記念

## 東京玉川会役員座談会

ふるさとを離れて思うことは自分の家族のこと。それと同じくらい村に対する思いもあると思います。村出身者の皆さんのふるさとを思う気持ちをお聞きして、村に住んでいて良かったといわれる村づくりとして、皆さんが自分のふるさととして誇りをもてる村づくりをしたいと思えます。(村長あいさつから)

大木 役員の数を増やして、若い人を入れてはどうでしょう。  
熊田 そうですね。来年の総会に図ってそうしたいと思えます。  
猪原 若い人に入ってもらって、またその人に若い人をみつけてもらえたらいいですね。  
吉田 それと奥さんが玉川村出身で、旦那さんがそれ以外だと夫婦では総会に出席できないのでしょうか。  
岡部 同じ家族ですから良いと思えます。

熊田 東京玉川会が設立して5周年をむかえました。今回は、それを記念して役員の方々に集まってもらい座談会を行います。まず、今までの東京玉川会の活動についてですが、会員も総会への出席者も毎年増えており、じっくりと間違いないやっけてこれた感じがします。  
宇田川 無理をしないでやってきたのが良かったと思います。私は別な会にも入っていますが、会費が高すぎて会員が減っている現状です。  
熊田 少ない年会費で活動ができたのは、事務局を村にお願いしていること。また、毎年総会を開いている若溪会館社長で会員の磯目幸男さんにご配慮をいただいているからだと思えます。  
大木 熊田会長さんがおっしゃったように、設立から今までの5年間は基礎を築くような活動ができました。  
車田村長 私もあまり会費が高い

大木 夫婦で出席したい方は、二人で来て楽しんでほしいと思います。  
車田村長 会員の方は、総会での出合いや広報を楽しみにしています。いろいろな方法で会員が増えるといいですね。  
宇田川 となりに住んでいても分からなかった人が、総会で知り合えたこともあります。昨年は同級生が6人もそろいました。  
真野目 昨年の総会で新会員の自己紹介が分かりずらいという声もありました。次回から一人一人ステージの上に立つてやればと思えます。  
熊田 そうですね。そうしたいと思えます。  
車田村長 それとなかなか名前と顔が一致しないので、全会員の名簿を作成してはどうでしょう。  
猪原 顔だけでも分からない人がいますから、名簿があれば便利ですね。  
岡部 総会の際に、広報で特集しては。  
車田村長 その前に写真を送ってもらって名簿を作成する方法も考えられます。  
岡部 事務局で検討して、いずれかの方法で作

と、負担を掛け過ぎると思いい心配していますが、現状なら妥当なところではないでしょうか。  
吉田 話は変わりますが、こちらに出ている人の中でも、玉川会を知らない人もいます。私も実家から聞いて入会しました。もう少しPRしてはどうでしょうか。  
増子 確かに若い人の中には玉川会が年配の方だけだと思っているようです。若い人を入れるにはどうしたらよいでしょうか。  
真野目 私は夫婦で入会していましたが、昨年からは子供たちも入っています。親から子へ交流の輪を広げるのも良い方法だと思います。  
大木 役員の中にも若い人を入れてはどうでしょうか。そしたら若い人の参加も増えると思えます。  
吉田 私たちの同級生は参加者が多いようですよ。誘いやすいのもありますね。  
真野目 私の息子は2回ほど総会に出席していますが、昔の親の様子を聞きながら楽しんでるようです。  
熊田 こういった会は、どこへ行っても、年配の方が多くいます。



車田次夫村長  
「村を内側から見るだけではなく、外から見ることも大切。外から見た目も大事にして村政に生かしたい」



オートキャンプ場の開発を  
大木吉孝さん(副会長)  
〔南須釜出身・東京都台東区在住〕  
「今、自然の中で楽しめるオートキャンプが盛んです。村でも開発してみたいです。」



無理をしなかったのが良かった  
宇田川七郎さん(幹事)  
〔北須釜出身・東京都江戸川区在住〕  
「私は、別な会にも入会していますが、会費が高すぎて、会員が減っています。無理しないでやってこれたのが良かったですね。」



中学校に記念樹を贈りたい  
猪原一美さん(監査)  
〔南須釜出身・東京都江戸川区在住〕  
「中学校が新しくなったので、記念樹を贈りたいという声もありますが…」



夫婦で総会に出席できれば  
吉田千代乃さん(幹事)  
〔川辺出身・東京都練馬区在住〕  
「夫婦のどちらか玉川出身でしたら総会に出席しても良いと思えますね。」



若い人も入会させたい  
増子薫さん(幹事)  
〔南須釜出身・東京都江戸川区在住〕  
「玉川会が年配の人だけの集まりだと思っている人もいますから、若い人も入会させたいですね。」



何のための玉川会か  
奥野政保さん(監査)  
〔岩法寺出身・東京都板橋区在住〕  
「何のための玉川会かという事もありますので、村が必要とするものに協力したい」



じっくりと活動できた  
熊田藤作さん(会長)  
〔川辺出身・東京都保谷市在住〕  
「会が設立してから5年間無理せず、じっくり活動できたのが良かったと思います。」

# 年頭のごあいさつ

## 家族で入会しています



真野目力男 さん (副会長)  
(南須釜出身・東京都世田谷区在住)

「私は、家族で入会しています。そうすれば、若い人も増えると思います。」

## 村の産品カタログを配布しては



車田 芳子 さん (幹事)  
(小高出身・神奈川県横浜市在住)

「村の産品カタログを配って、注文できるようふるさと宅急便をやつてはどうでしょう。」

## 玉川出身の家族なら総会に



岡部 勝良 (村企画調整課長)

「玉川村出身の方の家族なら総会に出席してもらってもよいと思います。」

成したいと思います。

熊田 話が前後しますが、村出身の中には、まだ旧村単位の意識が残っているので、これからの玉川会の役員については、バランスのとれたものになりたいと思います。

奥野 確かに役員が片寄ってしまうのは良くないと思います。

猪原 それが原因で入会できない人もいるとしたら、会長さんのいうとおりで良いと思います。

大木 これから事業という点では、総会の際に民俗芸能を披露してみてもどうでしょうか。

増子 全国に誇れる南須釜の念仏踊りなど、みんなに見て欲しいと思いますが子供が踊るので難しいのでは……。

岡部 その件でビデオで村の様子を紹介したいと思っていますが、機材等の関係で難しくなっています。

大木 石川会では全員が輪になって盆踊りをやりますよ。

車田村長 いずれかの方法で何か検討したいと思っています。それと、どうでしょう。一度、ふるさとで東京玉川会を開いては……。

熊田 5周年を記念してという事でいいかもしれません。

大木 新年会あたりでどうでしょう。

車田村長 何でも良いと思います。

熊田 地元の人も招いて交流を図るのも一つの方法ですね。

宇田川 玉川会のPRという意味では、老人クラブの新年会に合わせて出席するのもよいのでは。

熊田 敬老会に何か実用的な贈り物をしたい考えもありません。

奥野 それじゃ5周年を記念して寝たきり老人の人に紙オムツを贈るのが良いと思いますが。

車田 (笑) 新年会をやるよりも、そちらの方が良いと思います。喜ばれると思いますよ。

奥野 何のための玉川会かという声もありますので、会員から寄付を募って紙オムツを贈りたいですね。

熊田 それじゃ1人1,000円と決めて協力を求めましょう。いくら集まるかわかりませんが。

車田村長 いや、金額はいくらでもけっこうです。村の福祉協議会で紙オムツの配布をしていますので、それに充当する形にできます。

猪原 それと中学校が新しくなりましたので、東京玉川会として記念樹を贈ろうという話もありました。

熊田 村の人が喜んでくれるのなら、そうしたいと思っています。

熊田 村の人が喜んでくれるのなら、そうしたいと思っています。

車田村長 いろいろ負担をかけると思惑になってしまつので、1人1,000円を集める中から事務局に任せていただければと思います。

熊田 では、最後に村への期待ということでご意見のある方はお願ひしたいと思います。

吉田 農産物のふるさと宅急便をやつてほしいと思います。

車田 (笑) 村の産品カタログを配って、注文に応じる形のふるさと便も良いと思います。

大木 今、自然の中で過ごすオートキャンプが盛んです。観光パンフにあった東野の清流あたりを開発してはいかがですか。

真野目 空港を利用する人たちのための宿泊施設も考えてはどうでしょうか。

熊田 農業や工業・商業のそれぞれが占める割合をどうするかもありますが、ふるさとを愛する心が育まれる子供たちの教育にも力を入れていただければと思います。

車田村長 皆さんからいただいた貴重なご意見を参考に、今後の村づくりに生かしていきたいと考えます。本日はありがとうございました。

## 目的達成のため、一層対話を強め最善の努力をしていく決意

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え村民の皆様のご健勝を心からお慶び申し上げます。また、ご多幸やご繁栄をお祈り申し上げます。

また、昨年は村政の諸事業推進のため、村民の皆様のご理解と絶大なご協力に厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみます。近年まれにみる異常気象により、水稲をはじめとする農作物に多大な被害を受け、また、バブル崩壊による厳しい経済状況など、重苦しい年でありました。一方、明るい材料として、高速交通時代における空の玄関口の福島空港が、村民の皆様のご理解とご協力を得て開港できました。これにより、全国主要都市との時間と距離が大幅に短縮され、人・物・情報の交流が著しく拡大し、産業・経済・文化はもとよりあらゆる面で大きな効果がある

と期待しております。

村の主要施策は、阿武隈新高原都市構想・F

一丁構想・テクノポリス計画の中での臨空港開発ゾーン・トリアングルハイウェイ構想など、空港関連の大型プロジェクトの推進であります。

さて、現代社会は激しく動いております。この動きは、国際化・高度情報化・高齢化・価値感の多様化などであり、これらの社会情勢の変化を背景として行政需要も益々増大し質的にも大きく変化するものと思われま

す。このような時こそ、全村民の団結と創意工夫により、二十一世紀に向けた心豊かで活力と魅力のある村づくり、快適な生活環境の整備、未来に向け活力に満ちた産業の振興、健康づくりと福祉事業の積極的な推進、人間味豊かな教育・文化・スポーツの振興を図り、明るく、豊かな生活を実現できる村づくりを着実に前進すべく決意を新たに取組んでまいります。

当面の玉川村の課題は、福島空港関連周辺整備・付加価値農業の確立・商工業の育成・福祉と健康づくりに関して地域福祉センターの建設・水道整備事業・住宅用地造成・村民の憩いの場としての総合運動公園の整備・時代に

対応できる人材育成などあります。これらの目的達成のため一層対話を強化しなから最善の努力をしていく決意であります。本年も村民皆様様の変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。



玉川村長 車田 次夫



玉川村議会 議長 塩田 征二郎

明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、村民の皆様には益々御健勝のごとく御慶び申し上げます。

長引く不況、異常気象による戦後最悪の稲作の不作等の影響をひきずりながら新年を迎えてまいりましたが、村民の皆様方の不屈の精神力を活かし、創意工夫をこらして打ち勝ち、すばらしい年に

なるように心算を合せています。

さて、我が玉川村に目を向けます。福島空港の開港とともに、滑走路二五〇〇メートルの調査をはじめ、トリアングルハイウェイ構想等々、引き続き躍動し続けており、高速交通時代の到来が最も身近に感じられるようになってまいりました。

しかし、一方では私達を取り巻く生活環境・社会環境・自然環境の変化も、肌で感じられる今日でもあります。村では、村民の皆様が心身共に豊かさが実感できる玉川村の創造のために、計画的な村づくりを推進し、各種施策を講じてまいります。

議会といたしましては、これら当面する課題に対処するため、多方面にわたり、更に一層の調査研究を重ね、皆様方の付託にこたえる決意を新たにしております。

地方の時代と言われている今日、従来に増して自主性・主体性のある地域づくりが求められており

ます。村民の皆様と共にすばらしい村づくりの為に全力を尽くす所存でありますので、変わらぬ御指導・御協力を御願ひ申し上げます。年頭のごあいさついたします。

## 新年明けましておめでとうございます

### 村役場

- 村長 車田 次夫
- 助役 円谷 信男
- 収入役 佐久間 倉太
- 教育長 小林 豊司
- 外 職員 一同

### 村議会

- 議長 塩田 征二郎
- 副議長 高林 浅男
- 外 議員 一同

### 区長会

- 会長 関根 忠幸
- 副会長 大木 吉邦
- 外 区長 一同

# 数字で見る玉川

## 福島県の玉川村

- 人口 7,665人
- 世帯 1,667戸
- 面積 46.56km<sup>2</sup>  
(山林49.3% 畑18.3%  
田13.2% 宅地3.9%  
雑種地ほか15.3%)
- 産業別就業者の割合  
第1次 26.9% 第2次 45.7%  
第3次 27.4% (総数 4,199人)



庁舎

—昭和30年の合併促進法により旧泉村と旧須釜村が合併。平成5年3月に福島空港が開港し、これを核とした村づくりをすすめている。

## 埼玉県の玉川村

- 人口 5,265人
- 世帯 1,385戸
- 面積 14.49km<sup>2</sup>  
(山林32.8% 畑12.3%  
田4.8% 宅地7.9%  
雑種地ほか42.2%)
- 産業別就業者の割合  
第1次 11.9% 第2次 49.2%  
第3次 38.9% (総数 2,514人)



庁舎

—明治22年の町村施行に際して玉川郷・田黒村・五明村・日影村が合併。今年で105周年を迎える。都心から55km圏内で住宅地の造成など急激に都市化が進んでいる。

## 愛媛県の玉川町

- 人口 6,069人
- 世帯 1,787戸
- 面積 103.91km<sup>2</sup>  
(山林87.3% 畑1.2%  
田3.7% 宅地1.2%  
雑種地ほか6.6%)
- 産業別就業者の割合  
第1次 24% 第2次 36%  
第3次 40% (総数 2,947人)



庁舎

—昭和29年鴨部村・九和村・龍岡村・鈍川村が合併して玉川町となり、昭和37年に町政を施行し玉川町となった。自然と温泉(鈍川温泉)を中心にリゾート開発への期待が高まっている。玉川近代美術館(徳生記念館)には国内外の一流画家の作品が収蔵されている。

# 第1回 玉川サミット懇談会



左から、愛媛県渡部町長・福島県車田村長・埼玉県柏侯村長

# 名前が取りもつ玉川の輪

## 第1回 全国玉川サミット in 福島

### 12月3日

日本全国の中で「玉川」という文字がつく町村は、福島県の玉川村(たまかわむら)と埼玉県の玉川村(たまがわむら)と愛媛県の玉川町(たまがわちょう)の3町村です。平成5年12月3日に、これらの町村長などが本村(福島県の玉川村)に集まり第1回玉川サミットが開かれました。サミットには、埼玉県の柏侯昌平村長と神山寿議長、愛媛県の渡部修町長と正岡義人議長、本村の車田次夫村長をはじめとする村四役と塩田征二郎議長と高林浅男副議長、それに各町村の担当課長など合わせて18人が参加し、今後の交流について和やかに懇談しました。

村長会議で、HNKホールで合った同名の三町村長が「同じ名前も何かの縁。交流をしてみよう」と懇談したのが始まりです。その後、本村と埼玉県の玉川村の間では区長会研修などで相互を訪れて交流しました。また、埼玉県の玉川村が愛媛県の玉川町を訪れ、議員さんによる親善ソフトボールを行ったり、愛媛県の玉川町の若者塾生が埼玉県の玉川村を視察研修するなどの交流が図られました。

交流は直線から円に  
今までは、それぞれの町村が埼玉県の玉川村を中心に様々な団体で直線的な交流を図ってきたことになりました。今後は更に広くより深い交流を計画的に進め、それぞれの町村の関係を丸い輪にしようという事で、今回のサミット開催の運びとなりました。

## きつかけは 全国町村長会議

今回の第1回玉川サミットが開かれるきつかけとなったのが平成4年12月に行われた全国町村長会議

## 共同宣言

「福島県玉川村」、「埼玉県玉川村」及び「愛媛県玉川町」の首脳が一堂に会し、本日ここに「全国玉川サミット」を開催しました。この3町村は、同名の縁をもって結ばれた絆を基に、今後互いの熱意により、友好を深めることを約し、交流を通して教育・文化・スポーツ・産業・観光等の振興を図り、「ふれあい」と「連帯」を築くため、次のことに合意しました。

- 1、ふれあいを大切に、交流によるまちづくりを進めるため、住民の相互交流に努めます。
  - 1、産業・観光等の振興を図るため、経済交流や情報交換に努めます。
  - 1、豊かな住民生活の実現を図るため、行政レベルでの交流や情報交換に努めます。
- 以上、ここに宣言します。  
平成5年12月3日

福島県石川郡玉川村長 車田次夫  
埼玉県比企郡玉川村長 柏侯昌平  
愛媛県越智郡玉川町長 渡部修

## 懇談会で共同宣言

サミットの懇談会は村保健センターの会議室で開かれ、円谷村助役が開会のことを述べました。続いて各町村長が町や村の紹介をしながらあいさつ。福島県の車田村長は「1町2村の交流の中で、国内のリーダーとなるような人材育成に努めたい」、埼玉県の柏侯村長は「それぞれの地域の特性をいかしながら、お互いに協力し合い個性のある村づくりの一助とした」、愛媛県の渡部町長は「同

じような悩みをもつ町と村の立場から、交流の中で様々なことを学び地域に生かしたい」と述べました。

次に今後の町村交流について討論され、これからの全国玉川サミットは、町村長からによる懇談会と議会や行政、住民による交流会などを主な事業として友好を深めることを確認し、共同宣言を採択しました。

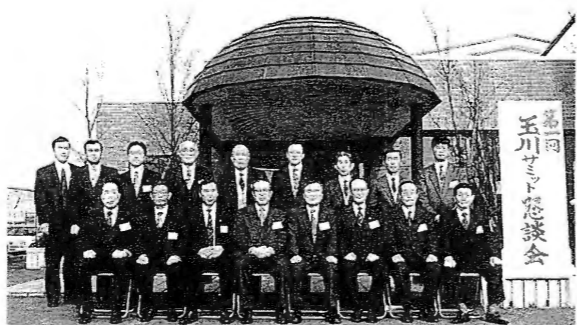
## 次回は埼玉県で

また、今回のサミットについても協議し、埼玉県の玉川村か

ら「来年の村政施行105周年を記念して開かせていただきたい」との申し出があり、満場一致で決定しました。

参加者は、その後、乙字ヶ滝や福島空港など村内を巡り、福島県の玉川村の現状を視察しました。

玉川の玉は磨けば光り、川は澄めば輝きます。玉川サミットを機に、同じ名前の三町村がお互いに研さんし合い、キラリと光りピカッと輝く町や村となることを期待したいと思います。



懇談会参加者で記念撮影

## 福島県玉川村

村の東部から西部に流れる玉川(現在は泉郷川)にちなんだ。川の名前の由来には長慶天皇の伝説や川からとれる丸い石の説などがある。

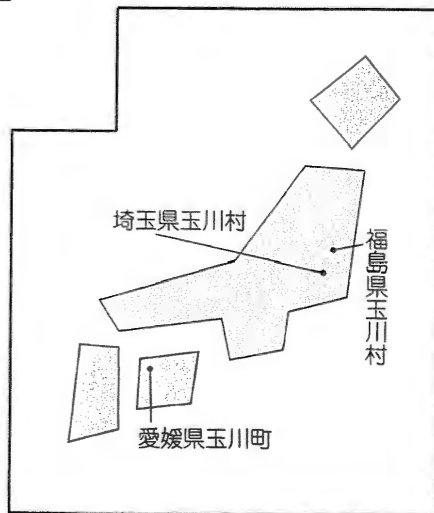
## 埼玉県玉川村

## 玉川の由来ってなんだろう

それぞれの町村についている玉川の文字ですが、その名前はどこからきているのでしょうか。玉川の由来を、ちよつとだけのぞいてみました。

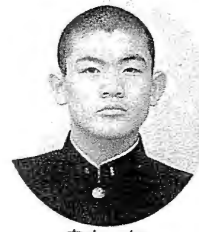
## 愛媛県玉川町

古くから玉川の里といわれており、古文書の中にもその名がある。平安中期には伊勢皇大神宮の所領「玉川の御厨」もあった。



「家庭の日」作文の部門  
平成5年度福島県青少年健全育成推進大会が県文化センターで開かれ、席上「家庭の日」作文の表彰も行われました。村から出品した作文からは、中学生の部の最優秀賞に溝井敦志くん(泉中1年)が輝き、そのほかにも、多くの人が入賞しました。健全育成の心は着実に浸透しているようです。

「ぼくの弟」



泉中一年 溝井敦志

「どうか読んでください。」  
「どうぞ、署名に協力を。」  
大きな声で言おうとしても声が出ない。ボンボンつぶつぶやきながら、通りすがりの人にピラを渡す。(ぼくのピラをみんなは受けてとってくれるだろうか。読んでくれるだろうか。)そんな不安が声をよけい小さくしてしまう。これが初めて街頭で署名運動の呼びかけをした時のぼくの姿だった。  
ほくには降雪を持った弟がいる。一人で立つこともできず、今もリハビリを受け、車椅子の生活が嫌っている。その車椅子も自分で動かすことができず、母に押してもらっている。話すことはほとんど音を発しているだけにすぎないものではなく、郵便局の関係者を

い。時々、突然いれんをおこすこともある。あわをふいて意識を失い倒れる。体は硬直し、ガクンガクンと全身に強いけいれんが起る。「てんかん」である。この時弟の頭の中は、雷が落ちるようなシヨツクが生じているのだ。どんなに苦しいことだろう。しかし、弟はそれをいえないのだ。

ぼくの家では、弟をマーくんと呼んでいる。毎朝、弟とぼくは、起きると、すぐ弟の寝ているところへ行く。「おはよう、マーくん、今日は元気。」と声をかける。音が出るおもちゃで遊んでいる時が最高に嬉しく感じる。ぼくは、ぼくたちもいっしょにしばらく遊ぶ。この時の弟の表情はあまりかわらないけど、いろいろな声を出して喜びを表す。ぼくたちにとっても楽しいひとときだ。弟がふきげんなときは心配で、「どうしたの、なにをしようか。」と、弟のやりたいことや、やってほしいことを知ろうと次々と言葉をかける。うなるだけである。理由の言えない弟のつらさは顔のゆがみとなってあらわれている。(なんとかしてやりたい。何をいいたいか知りたい。)と強く思うのだ。ところが、母は、弟の話言葉がすべてわかっているのだ。ぼくには全くわからないような声を、母は言葉として理解しているのだ。母の不思議な力に、いつもぼくは驚かされてしまう。そして、いつになったら、母のようにになれるのだろう、早く、母のように弟のことを何でも理解してやりたいと強く思う。いつか、母はこんなことを兄とぼくに話してくれた。

弟は、予定日より12日も早く生まれ、ミルクを全く飲まず、体重が減る一方。それに目がつりあがってきて、6日目に検査を受け、ダウン症と診断された。そして、命の保障は六カ月と医者に言われた。それを聞いた母は「この子をできるだけ長生きさせたい。いや、絶対、長生きさせてやる。」とそう決意した。しかし、一睡もしないで看護する日が続き、さすがの母も、体力的にも精神的にも疲れてくる。そんな時は、「神様は、私を成長させよう」とこの子を授けてくれたんだから、がんばらなくちゃ。」と自分に言いかけ、がんばれたという。この話をきいたとき、ぼくは、肺炎をおこし、意識不明に陥った弟に、「マーくん、がんばれ、お兄ちゃんも、お父さん、お母さんもあるよ。いっしょに遊ぼう、マーくん、マーくん、マーくん。」と何度も何度も呼び続ける母の姿を思い出した。母の心の叫びが届いたのか、弟は奇跡的に命をとりとめた。やせっぽちで小柄な母のどこにすごいパワーがたくわえられているのだろうか。

母は、もつと多くの人々に、弟の病気のことを知ってほしいと願い、「波の会」という会に入り、ダウン症の専門の病院の設立や施設の拡大、ベッドギアや車いすの補助、病室への偏見をなくしようと、署名運動や募金運動にも参加している。ぼくたちも弟のような子供たちのためと、母にお願いして、初めていわき市で街頭に立った。「がんばってね。」協力しますよ。」という言葉を受けたとき、とてもうれしかった。また、須賀川市の翠ヶ丘公園のゴミ拾いの奉仕作業にも家族中で参加した。そうしながら、ぼくは、「お母さん、マーくんは言葉も話せないし、車いすに乗った生活だけで本当に幸せなんだろうか。」と、きいてみた。すると、母は、「幸せにきまつてないの。こんなにいいお兄ちゃんたちがいるんだよ。家族のみんながマーくんを毎日毎日、話をしたり遊んだりしているじゃない。マーくんはわか家の天使。神さまはね、私たち家族なら真仁を幸せにしてくれるにちがいないと授けてくださったんだもの。真仁は最高に幸せだよ。」こう、ぼくと弟をみて話す母に、こういう母の所へうまれたぼくたちは幸せだとつくづく感じました。お母さん、みんなでがんばろう。



溝井敦志くんが最優秀賞に

# 石井菊夫さんに

## 勲七等瑞宝章

平成5年度秋の叙勲

### 「仕事を続けることができたのは地域の人のおかげです」

自分が冠婚葬祭で配達ができない時は、親せきや地域の人に頼んで配達をしました。「32年もの間やってこれたのは、地域の人たちに協力してもらったからだナイ」としみじみ語る菊夫さん。今回の受賞が自分一人のものではなく、郵便局の関係者を

はじめ地域の人たちの協力のたまものだと感謝していました。平成2年からは長男の和夫さんが郵便集配受託者として業務を引き継いでいますが、孫の健一くん(小学3年生)と明菜ちゃん(小学1年生)も近くの家に毎朝、新聞を配達しています。地域に尽くそうとする心は、親から子へ、子から孫へ伝わっているようです。

#### 受賞者名簿

事業所名	氏名	事業所名	氏名
有賀縫製	吉田裕子	東京精工(株)	大槻金市
柳山山ゴム福島工場	大野忠春	〃	有賀久嘉
〃	近内美代子	〃	吉田浩一
駒木根工業(株)	小林喜作	中根精工(株)	阿部礼子
〃	有賀一夫	〃	宗形リイ子
〃	前田ユキ子	〃	吉村久子
強力被服工業(株)	矢吹美津江	(南)双葉産業	楠枝正夫
(南)佐藤製作所	関根一己	日本精密加工(株)	山田米子
(南)塩沢設備工業所	小原昭治	〃	小林初江
塩田縫製	楠枝トシ子	福島双羽電機(株)	吉田秀男
(南)鈴木建設	草野久子	〃	塩沢正子
(南)玉川畜産センター	宗形菊男	(南)ダグラメ工業	須田勇夫
東京精工(株)	車田喜和子	(株)安田縫製	大和田敏子
〃	相楽幸二	(南)小林建設	永林昭



石井菊夫氏叙勲を祝う会

「四辻の郵便屋さん」こと石井菊夫さん(66歳)が、平成5年度の叙勲で勲七等瑞宝章を受章しました。11月11日には皇居で拝謁が行われ、妻のスイさんとともに出席しました。また、12月5日には郵便局関係者と配達区域の人たちなどによる「叙勲を祝う会」も開かれ、石井さんの受章を喜び合いました。昭和32年から始めた郵便配達の思い出をお聞きしましたので、ご紹介いたします。

### 50キロの山道を歩いて配達

石井さんが配達を始めたのは、現在、配達を引き継いでいる長男の和夫さんが生まれた昭和32年からです。当時中継所になっていた、国井長吉さん宅まで、郵便物を取りに行つて、それを決められた区域に配達するのが石井さんの仕事でした。

「当時は自転車もなく、肩にカバンをさげて歩いて配ったんだゾイ。千五沢・小半弓・青井沢・河平・東野などは3日に1回・そのほかの通りは毎日配達と決められて、今思えば40キロぐらいは歩いてたナイ」と石井さん。雨が降ると道路が小川になってしまい、歩くのも容易でない事もあったそうです。家業の葉たばこや水田、和牛などの手入れをしながら、毎日配達できたのは、父の亀治さんの協力もありました。「ポケット

### バイクのタイヤに縄を巻いて走った

トにいつもあめ玉を入れていて、子供たちには、手紙と一緒にあめ玉も配っていたようです。」と父の思い出も話してくれました。

その後、交通手段は自転車になり、昭和41年ごろからはバイクでの配達となりました。道が悪かったため、自転車もバイクもパンクすることが多く、いつも修理道具を積んでいたとの事。一番苦労したのは何でしょうねとたずねると「冬の道だナイ。雪が降るとバイクのタイヤのところに雪や泥がたまつてタイヤが動かなくなる。そうならないためにタイヤに縄を巻いて走つたりもしました。」と石井さん。いろいろ工夫しながら悪条件を克服していったようです。

### 一番の思い出は千五沢集落

「木戸さん、塩沢さん……全部で14戸かな。」と石井さんから一軒一軒の名前を挙げて千五沢集落を説明してくれました。昭和32年から平成2年まで32年と9か月の勤務の中で、一番印象に残っているのは、千五沢集落が沈んでダムができた事だそうです。「きのう一軒減り、今日も一軒というように少しずつ出て行く中で、最後の一軒ま

### 勤労をたたえ28人を表彰

11月23日(勤労感謝の日)に村就業改善センターで、平成5年度優良従業員表彰式が開かれました。式では、今回表彰を受けた28人に双里正司村商工会長から表彰状と記念品が手渡され、これに代えて受賞者代表の相楽幸二さん(東京精工(株))が謝辞を述べました。また、式終了後には「人材教育とむらおこし」と題して小針孝一社会教育指導員の記念講演も開かれ、受賞者らは熱心に耳を傾けていました。



受賞者は名簿のとおり(敬称略)



配達を始めたころ

# たまかわトピックス

—みなさんからの話題をおまちしています—  
役場企画調整課  
広報係まで

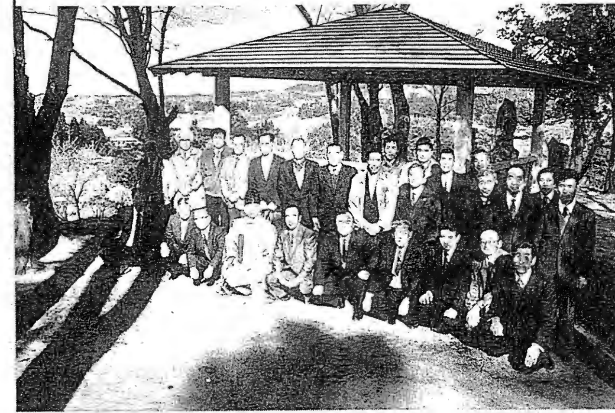
## ふるさと創生の心で清掃奉仕作業

平成2年度から行っている海外派遣事業参加者が福島空港周辺やアクセス道路などの清掃奉仕を行いました。この事業は、昨年9月に結成した

「玉川村民海外派遣連絡協議会（塩沢金吾会長）が海外研修で学んだ、美しい街づくりやボランティア活動を、自分たちの地域づくりに生かそうと初めて主催。180名の参加者は各グループごとに分かれ、空き缶やごみ拾いなどを行いました。生きてますね、ふるさと創生の心。」



## 大寺城跡に「あずまや」 —新たな名所—

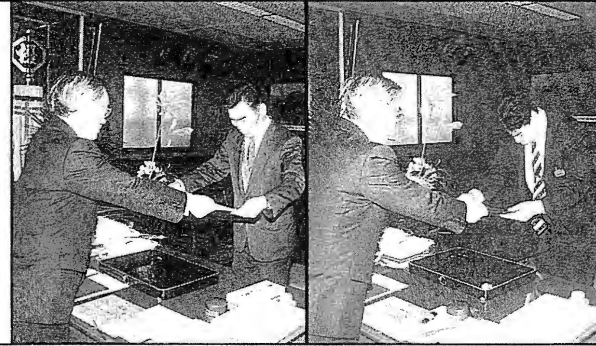
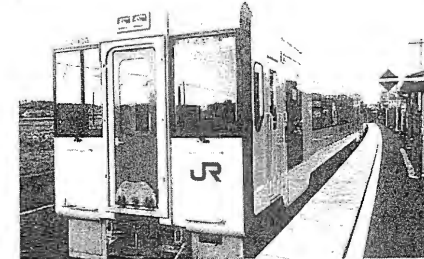


村のほぼ中央部にある大寺城跡（南須釜）にあずまやが完成し、その落成式が現地で開催されました。

式には建設にあたって代表となった南須釜区長の大木吉邦さんをはじめ氏子総代の方々、車田村長や村議会議員らが参加し、工事の無事完成を祝いました。あずまやからは阿武隈の山並みや福島空港に離発着する飛行機も一望でき、新たな名所になりそうです。

## 水郡線に新車両

もうすでに乗られた方もいると思いますが、水郡線に新型の車両がお目見えしました。外観は白と緑でスッキリ。また、内部も座席が多くなりゆったりしています。これに合わせて快速列車も走り、ダイヤも変わりました。私たちが一番安心して乗れる列車です。大いに利用しましょう。



## 「金色」「銀色」有功章

仁井田 健さん（竜崎）  
宗形 友三さん（北須釜）

日本赤十字社から仁井田健さん（竜崎）と宗形友三さん（北須釜）に有功章が贈られ、村長室で伝達式が行われました。

仁井田さんには献血50回をたたえる金色有功章が、宗形さんには日赤活動に対する功績を認めた銀色有功章が贈られ、車田村長が記念の盾とバッヂを手渡しました。ご協力ありがとうございました。

# 福島空港のいざという時に備えて

## 「ハイジャック訓練」

福島空港でのハイジャック発生に備えた訓練が、11月2日の早朝、福島空港で行われました。訓練は、ハイジャックされた全日空の飛行機が給油のために福島空港に立ち寄り、その際に犯人と交渉し逮捕するという内容でした。

参加した人たちは真剣に訓練を行い、犯人が逮捕され乗客が解放されるとホッとした表情を見せていました。



## 「雪が積もったら」

福島空港では開港以来初めての冬を向かえます。冬といえば雪。滑走路に雪が積もってしまったらどうするのでしょうか。

「任せて下さい」という声を発するのは除雪作業を請け負う、いしかわ施設敷地管理事業協会組合の人たち。11月29日には、雪の時に活躍する除雪車の前で除雪安全祈願祭が行われました。関係者らは、一台一台おはらいをうけた除雪車が無事故で安全に作業ができること、そして無事、飛行機が離発着できることを祈っているようでした。



## 「飛行機の事故」

12月8日には中日本エアラインサービスのフォッカー50を使用して、消火救難総合訓練が行われました。「乗客、乗員100人を乗せた飛行機が着陸時にバランスを崩し、翼を壊して燃え上がった」という想定での訓練には、福島空港消火救難隊をはじめ各消防機関にまじって村消防団員の代表も参加。消火活動や救助作業の訓練を真剣に行いました。いざという時には関係機関もさることながら、地元の方々の協力がとても大切だと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。



## ぼくたちがお手伝いしたんだよ

昨年の暮れに福島空港ビルの日本航空さん前の大きなクリスマスツリーをぞろぞろと飾りつけたのは、たくさんいると思います。じつは、あのツリーは「すがま幼稚園」の子供たちがお手伝いしてつくったんですよ。大きな木に一個一個自分で作った飾りものが、たくさん着けられたツリーは、子供たちの心はいままでに残ることをしよう。とても素敵な心のプレゼントでした。



# 税

## 所得申告が 始まります

住民税(村民税)や所得税の申告時期になりました。村では「税の申告相談」を2月8日から下記の日程により行います。相談日に都合の悪い方は、都合の良い日に相談下さい。

の領収書  
⑥農業近代化資金等の制度資金借入金のある方は、利子支払証明書  
⑦その他申告に必要と思われる書類

### 住宅取得特別控除の申告に必要な添付書類

- ①住宅用家屋の登記簿謄本
- ②建築工事の請負契約書
- ③住民票の写し
- ④金融機関等からの住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書(金融機関等から交付を受けます)
- ⑤住宅取得等特別控除額の計算の基礎となる住宅借入金等の年末残高の額の計算明細書

### 譲渡所得特別控除の申告に必要なもの

個人や公的機関に、土地や建

物を売った時には譲渡所得がかかります。その特別控除を受ける場合には、売買契約書(個人)及び公的機関が発行する証明書が必要です。

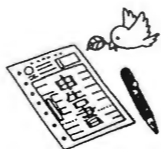
### 便利な

### 振替納税のご利用を

所得税の納付及び還付請求が金融機関等の預金口座から振替できますので、利用されますようお願いいたします。

ご利用される方は、印かん(口座と同じもの)と口座番号が必要となりますので申告相談のときにお持ち下さい。

申告相談のお問い合わせは、役場税務課 ☎57-3101 内線 31・32番。



### 申告相談の日程

受付		午前9時～午前11時30分		午後1時～午後3時		場所			
		西部地区		就業改善センター		西部地区		須釜公民館	
2月	区分	地区名	午前	午後	3月	区分	地区名	午前	午後
8日(火)	住民税	川 辺	宮ノ前組～3組	4組～6組	1日(火)	所得税	営業、農業、庶業	確定申告者	(東部地区)
9日(水)	〃	〃	7組～10組	11組～残全域	2日(水)	〃	〃	〃	〃
10日(木)	〃	小 高	1組～3組	4組～7組	3日(木)	〃	〃	〃	〃
14日(月)	〃	〃	8組～10組	11組～残全域	4日(金)	住民税	北須釜東部	奥撫、仁戸内	東部残全域
15日(火)	〃	中	1組～5組	6組～残全域	7日(月)	〃	北須釜西部	雀森、桜窪	西部残全域
16日(水)	〃	岩 法 寺	1組～4組	5組～残全域	8日(火)	〃	南 須 釜	蟹沢、荻ノ田	奥平上、奥平下
17日(木)	〃	蒜 生、竜 崎	蒜 生 全 域	1組～4組	9日(水)	〃	南 須 釜	南 宿	残 全 域
18日(金)	〃	竜 崎	5組～7組	8組～残全域	10日(木)	〃	吉 全 域	上の1、2、3組	吉 残 全 域
21日(月)	所得税	営業、農業、庶業	確定申告者	(西部地区)	11日(金)	〃	山小屋、山新田、青井沢、小半弓	山 小 屋	山新田、青井沢、小半弓
22日(火)	〃	〃	〃	〃	14日(月)	住民税	四辻新田、東部地区 残	四 辻 新 田	東部全地区
23日(水)	〃	〃	〃	〃	15日(火)	住民税	西部地区 残	川 辺、蒜 生、小 高	中、岩法寺、竜崎
24日(木)	〃	〃	〃	〃					
25日(金)	〃	〃	〃	〃					
28日(月)	〃	〃	〃	〃					

# あっ！ブレーキがきかない

スキーヤーにとって、嬉しい季節が訪れました。でも、ドライヤーのみなさんにとっては、いやな季節だと思ってしまうのでは？この時期、路面の凍結等によるスリップ事故が多発します。みなさんも冬道でヒヤッとした経験を、一度や二度持っているのではないのでしょうか。では、冬道を安全に走る為には、どのような工夫をすれば良いのでしょうか。

### 危険な場所は

まずはどんなときスリップが起こりやすいか考えてみましょう。気温に関しては、一般的に



- 1、カーブや交差点付近
- 2、坂道、特に下り坂
- 3、橋の上やトンネルの中、踏切等
- 4、切り通しの部分
- 5、濡れた路面の日陰部分

### 走り方は

- それでは、どのような走り方が必要なのでしょうか。基本的には、スピードを控え、急発進急ブレーキ、急ハンドルを避け、車間距離を十分にとる等がありますが、その他に、どのような工夫が出来るのでしょうか。
- 1、交差点、橋、トンネルの手前ではしっかり減速する。
  - 2、左カーブでは特にスローインを心掛ける。
  - 3、右カーブでは、対向車線への無意識のみ出しを警戒する。
  - 4、下り坂の手前では、確実にシフトダウンしエンジンブレーキを効かせる。



- 5、追い越しや右、左折をする時は、ハンドルとアクセル(ブレーキ)の同時操作をしない。
- 以上の事に気を付けるだけでも、冬道特有のスリップ事故をある程度避けることが出来るのではないのでしょうか。ドライヤーのみなさん、冬道は特に注意し、村から交通事故を無くすようにしましょう。

## 水道も冷えこみ ご 用 心

いよいよ冬将軍到来。夜の冷えこみも厳しくなる季節となりました。私たち人間もカゼなどをひかないように注意が必要ですが、水道管にも注意してください。

### 『寒いのは 水道管も同じです』

- 防寒の不完全な水道管は、マイナス4℃以下になると凍ったり破裂したりします。次にあげるような防寒の工夫をして、水道管を寒さから守りましょう。
- ①保温材や保温テープを巻く。
  - ②保温材が無い場合は毛布や布などをぬれないように巻き、更

に上からビニールを巻く。  
③メーターボックスにも、毛布や布切れを入れる。また、ボックスの上にタンボールや発砲スチロールをのせる。

### 『凍ったら急に 熱さずじんわりと』

水道管や蛇口が凍ってしまつたときは、その部分にタオルをかぶせ、上からゆつくりとぬるま湯をかけて溶かします。急に熱湯をかけると破裂したり、ヒビ割れることがあります。

### 『もし破裂したら あわてず不凍栓』

- もし水道管や蛇口が破裂してしまつたら。
- ①まず、不凍栓をしめて水を止める。
  - ②ゴミなどを入れないようにするため、破裂した部分に布かテープを巻きつける。
  - ③村水道工事公認店へ修理を申し込む。

詳しくは、村水道課まで  
☎57-3101 内線44番

## 1・2月の健康ごよみ

- 1月
- 11日(火) 成人病予防教室  
古集会所  
午前9時30分
- 13日(木) 献血車来村
- 14日(金) 乳幼児健康相談 (保)  
午前9時30分  
対象：H.3、H.4 (12月、1月生)、H.5 (5月、6月生)
- 18日(火) 成人病予防教室  
中生活改善センター  
午前9時30分
- 19日(水) 母親教室 (保)  
午前9時15分～
- 25日(火) 三種混合予防接種 (保)  
午後1時30分～
- 26日(水) 三種混合予防接種 (保)  
午後1時～
- 28日(金) 3歳児健診 (保)  
午後1時～  
対象：H2 (10月、11月、12月生)
- 2月
- 1日(火) 血圧デー
- 4日(金) 乳児健診  
午後1時～  
対象：H5 (9月、10月生)

(保)：保健センター  
(須)：須釜公民館

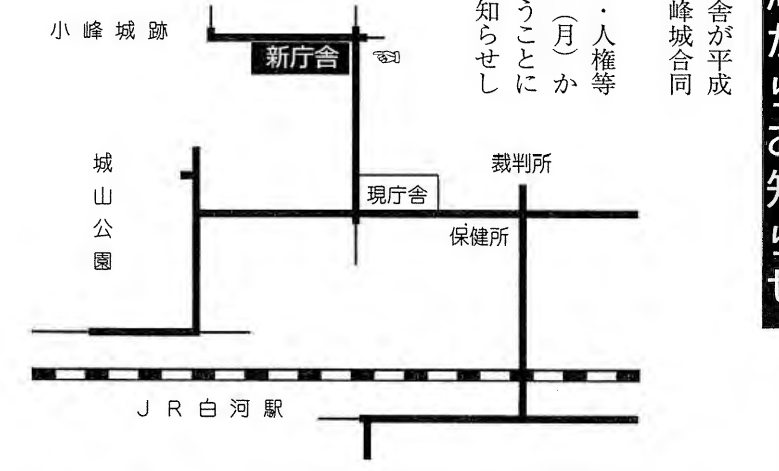
## 寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 記
- 竜崎の小林 弘さんから 5万円
  - 中の小針洋一さんから 2万円
  - 北須釜の草野継男さんから 3万円
  - 吉の森忠寛さんから福祉機器購入費の一助にと 1万円  
(12月10日分まで。村社会福祉協議会)

- 新庁舎所在地  
白河市字郭内1番地136  
(2階と3階)

- 電話番号  
0248(22)1201(従前と同じ)



法務局白河支局庁舎が平成6年1月から白河小峰城合同庁舎に移転します。  
登記・戸籍・供託・人権等の事務は、1月17日(月)から、新庁舎で取り扱うことになりましたので、お知らせします。

## 法務局からお知らせ

## 村のようす (5年12月1日現在)

- 1,729戸(+5)
- 7,677人(+18)
- 3,786人(+5)
- 3,896人(+13)

## 今月の納税

村県民税第4期分  
国民年金保険料 1月分  
国民健康保険税 第7期分  
(納期限は1月25日(火)です。忘れずに納めましょう)

## お誕生おめでとう ございます

(12月10日まで届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	熊田真衣	哲也
小高	湯澤晃平	徳雄
岩法寺	大野光穂	広光
〃	白岩佑樹	義隆
北須釜	鈴木晴貴	義一
〃	榊枝由衣	春夫

## おくやみ申し上げます

(12月10日まで届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
竜崎	小林文子	83	弘
中	小針保一	59	洋一
南須釜	近内正治	49	静子
北須釜	草野藤吉	84	継男

までの住宅取得資金の贈与について贈与税がかかります。詳しくは、役場税務課まで

**福祉窓 身体障害者用自動車 改造費助成**

この事業は、身体障害者の方が、就業等のために障害者本人所有で、自ら運転する自動車の改造をする時、改造に要する経費を助成するものです。ただし、所得制限があります。  
(対象者) 上肢、下肢又は体幹機能障害で、その等級が一級又は二級の方。  
(助成額) 10万円以内。  
この助成を受けようとする方は、改造をする前に申請をし、交付決定されてから改造をしてください。  
詳しくは、役場住民課福祉係まで。



## 思い出のアルバムから

12月号の思い出のアルバムを見た車田初雄さん(小高)が「同じころの写真がうちにもあったので…」と、この写真を持ってきてくれました。この日は中地区の方々が当番だったようです。写真の前列は当時の教育委員さんで左から上野鶴雄さん、小針信作さん、関根安嗣さん、教育長の車田芳雄さん、近内教頭先生だそうです。また、近内教頭先生の後の手ぬぐいをかぶった男性が道山さんといって井戸掘りの中心になった人。「なかなか水がでなかったと聞いています」と思い出を話してくれました。

## 平成6年度泉保育所 入所希望者を募集

- 次により平成6年度に泉保育所へ入所を希望する人を募集します。
- 対象児と募集定員  
満1歳以上から小学校就学前の幼児、80人。
  - 保育時間  
午前8時30分から午後5時まで。
  - 入所基準  
児童の保護者、特に母親が就労・病気などの理由で保育することができず、更に同居している人も保育にあたることのできない場合。
  - 保育料  
所得税などの課税額により決められます。
  - 申請期間  
平成6年1月5日(水)から1月20日(火)まで。
  - 申請場所  
玉川村役場住民課
  - 持参品  
就労証明、印かん、保険証
  - 注意事項  
引き続き入所を希望する場合も申請が必要で、詳しくは、役場住民課福祉係まで。  
☎57-3101内線27番

## いずみ すがま 幼稚園児を募集

- 平成6年度に入園する玉川村立いずみすがま幼稚園の園児を募集します。
- 対象児と募集定員  
(いずみ幼稚園)  
玉川村内に住んでいる昭和63年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた幼児、120人  
(すがま幼稚園)  
玉川村内に住んでいる昭和63年4月2日から平成2年4月1日までに生まれた幼児、100人
  - 申込み期間  
平成6年1月10日(月)から1月22日(出)まで
  - 申込み方法  
幼稚園にある入園願書に必要事項を記入して、幼稚園に申し込んで下さい。
  - その他  
印かんが必要ですから必ず持参して下さい。  
※現在、すがま幼稚園に入園している園児(4歳児)が引き続き入園する場合は、申し込みの必要はありません。  
詳しくは、玉川村教育委員会まで。  
☎57-3101内線63番



## くらしの 情報

## 法律扶助の日記念 無料法律相談会

- 1月24日は「法律扶助の日」です。この日を記念して各法律事務所を開放した無料法律相談を行います。
- 日時 平成6年1月24日午前10時から正午まで
  - 場所 郡山・白河市内の各法律事務所
  - 予約受付期間 平成6年1月13日から1月21日まで
  - 予約受付電話番号 郡山0249(22)1846 白河0248(22)3381

## みんなでスキー スキー教室募集

- 玉川スキークラブと村公民館が主催するスキー教室の参加者を募集しています。
- 日時 平成6年1月23日(日)
  - 場所 磐梯国際スキー場
  - 対象 村内に居住または勤務する人
  - 定員 45名(申込み順)
  - しめ切り 平成6年1月10日
  - 会費 1人 1,500円(貸スキー代は別料金)  
詳しくは村公民館まで。

## 村民囲碁将棋大会 参加者募集

- 囲碁と将棋を、みんなでやりましょう。新春恒例の村民囲碁将棋大会をつぎにより行います。参加希望者は公民館まで。
- 日時 平成6年1月30日(日)  
午前8時30分受付
  - 場所 村就業改善センター
  - 対象 村内に住居又は勤務する人
  - しめ切り 平成6年1月19日
  - 会費 1人 400円

## NHK学園の通信講座で 学んでみませんか

- NHK学園では、冬期の生涯学習講座受講生を募集しています。
- 生涯学習講座(通信講座)  
教養と趣味を深めるための書道、俳句、英会話など71講座。
  - 申込期限 平成6年1月31日  
案内書を希望の方は、〒186-01 NHK学園 8 E 81係まで。☎0425(72)3151

## 贈与税②

ある一定の要件にあてはまれば、贈与税の控除や特例を受けられることができます。

- 配偶者控除：婚姻期間20年以上の夫婦の間で居住用不動産の贈与があったとき、一定の要件にあてはまれば、最高2,000万円までの配偶者控除が受けられます。
- 住宅取得資金の贈与の特例  
父母や祖父母から、平成5年12月31日までに住宅取得資金の贈与を受けたときにも、ある一定の要件にあてはまれば、500万円までの部分について「5分5乗方式」により贈与税額を計算する特例を受けることができます。

この特例を受けると300万円





思い出のアルバム⑦

「53年前の  
力士仮装」

この写真は、昭和15年11月15日に紀元2,600年を記念して行われた祝賀会での仮装のコマです。

「とても貴重な写真だと思います、蒜生の如意輪観音堂に奉納されていたものを、昭和50年頃に複写させてもらいました」と写真を提供してくれた渡邊利司さん(蒜生)が話してくれました。

写真についてもいろいろ調べていたようで、写っているのは当時の蒜生國防婦人会の人たち、場所は泉村尋常高等小学校(現在の泉保育所の所)だそうです。そう言えば、写真の二ノ宮金次郎の像が今も残っていますね。

仮装は力士や行司の姿で、化粧まわしには当時活躍していた双葉山や羽黒山などの名前が見られます。女の人たちだけの力士姿なのに、力強さと迫力を感じてしまうのは、私だけでしょうか……。

懐かしい写真をお持ちの方は、役場企画調整課の広報係 須田まで

たまかわの皆さん  
お元気ですか

—東京玉川会員だより—  
「あれから50年」

千葉県市川市  
小林 春次さん(亀崎出身)



ある旅行にて

新年明けましておめでとうございます。「広報たまかわ」に初めてお便りさせていただきました。広報紙が送られてくる度に懐かしい方々の写真や名前に接することができたり、村の生き生きとした姿を知ることができ、送られてくるのを楽しみにしております。

それにつけても、村の活動に携わる方々が若い世代に変わり、顔や名前が分からなくなり、顔や名前が分からなくなりました。これも、時代の流れだと感じます。

「時代の流れ」といえば、私も、村で過ごしていた子供のころのあれこれが、しきりと思ひ出される年になりました。

私の生家が戦後までランプ暮らしであった事。先生からは

「いいか、お前たち今しつかり勉強しとかないと、大人になってから必ず後悔するんだガンナア」と叱られた事。また「山学校」といって、授業を抜け出して近くの山や麦畑で遊んでいるところを先生に見つかり、その時に先生の目から大粒の涙が流れていた事など、今でもはつきりと覚えてます。

玉川を離れて紆余曲折の五十年でしたが、一人息子も既に独立して家を構え、二人の孫にも恵まれました。同郷の妻と、さして事なき日々を過ごしております。末筆になりますが、故郷の益々の発展と、今年一年の会員の皆様と村民の皆様御多幸と御健勝をお祈り申し上げます。